滿洲日報

○報價
每月收取八角代賣所及遠隔人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

…市元寶六吊百至六三吊二百
…紅糧價錢五吊四百文至五吊
…車共上車三十餘輛
…遼共來七十餘輛
元寶六吊九百至六吊八百

一洗石鹼 一ダース入 同三圓三十錢
一同 二十本入 同一圓七十錢
一袋真綿 六枚入百袋 同一百三十圓
一改良半紙 一〆 …錢三圓
關東公司

一紙… …入… …
一白味噌 正五貫入一樽 同二圓八十錢
一同赤 正十八貫入同 同八圓五十錢
一堅パン 七貫入一函 同九圓
矢野洋行

一メリヤス手袋 打同…圓より六圓迄
一小供手袋 打同一圓五十錢より五圓迄
一女シャツ 打同六圓八十錢より十圓位迄
一小供シャツ上下 打同九圓位より廿圓位迄

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ヶ月以内…錢十五仙乃至十… 一長期連掲減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

告示

來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す

月　日　營口軍政署

特別廣告

△資本金貳千四百萬圓
△積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

橫濱正金銀行牛莊支店
電話百八番 十番 支配人室 事務室

告示

工事材料購買入札

第一號
一杉丸太 長七間ヨリ三間半迄取合 貳千百本
第二號
一條石 延長 四千五百丈
第三號
一砂 一千立坪

右每号入札ニ付ス入札希望者ハ當署土木係ニ就キ契約書案熟覽ノ上來ル三月十五日午前十一時入札保証金各自見積代金拾分ノ一以上相添ヘ入札書差出スヘシ
但即時開札ス
此契約ハ營口軍政官與倉喜平擔任ス
明治三十九年二月二十六日
營口軍政署

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八番)

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋襪子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請厲臨爲幸

運輸部
道般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢代客經理買賣租船裝運事宜營口東南崗自建碼頭能泊輪船大小艘棧房地方寬大凡商輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週運知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣羅雜貨一應俱全價值格外從廉克己幷另設銀爐包鑄鋳以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寶煳船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代米烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(駱駝) 櫻花牌(…) 百合花牌(利利)均已馳名內外並特運上等煙料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤爲此廣告

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し屢に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

賣捌並廣告取次所

大連市穆賦町三百三十八號
日華運輸公司

大連市盤陽城四樂九番地
岡野新聞舖

奉天大南門內景祐宮胡同
全泰號

遼陽遼俱町十
谷口今朝太郎

競賣廣告

第一號 一二輪荷馬車 千參百輛
第二號 一二輪荷馬車輓具 五百副
第三號 一人挽徒步車 三千輛

此入札保證金は各自見積代金百分の五以上右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き(自午前十時至午後四時)間現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上來る三月二十日(自午前十時至正午)入札書差出すべし但即時開札す
此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎擔任す
明治三十九年二月二十日
奉天停車場南方約八百米突に在る(山西會館附近)
門司野戰兵器本廠奉天出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠奉天出張所茲於日曆本年二月二十日在奉天倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎

計開
第一號 双輪搬貨馬車 千三百輛
第二號 双輪搬貨馬車用車套 五百副
第三號 人力單拉車 三千輛
承買者均須將各自估價一百分之五先交作押
明治三十九年二月二十日
在奉天停車場東南方淸里一里半(山西會館附近)
門司野戰兵器本廠奉天出張所

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

江副洋行
營口永世街

和泉洋行

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閲是幸
田中牛莊分莊謹啓

田中牛莊分莊

材木販賣 荒物

秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡 中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨異價實以應各主顧局急之需謹本主人啓

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

電氣諸機械
大販賣

本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部 (電一五四番)
主任 朱牟田寅吉

營口元神廟前
飯塚工程局材料部 (電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

倫敦電報

●バ氏と勞働者問題
去る廿日に於ける首相バンナーマン氏の清國勞働者問題に關する宣言は内閣内の帝國派と急激派の意見を折中せるもの丶如し急激派は如何なる故障あるも清國勞働者をば直に歸國せしむべしと主張せしが今や内閣に於ける意見の衝突は除去せられたり

●上奏文修正の否決
サンダーソン大佐の上奏文修正の動議は愛蘭土立法院問題に對する同國勤王派の危虞心を表白せるものにして八十八票に對する四百〇六票の多數を以て否決せられたり

●バ卿及び其他の除名
バーレーのバルフォヤ卿及び他の者は總選擧の際急激派の候補者を贊助せる廉を以て立憲倶樂部より除名されたり（以上二月二十二日發電）

●英皇の伯林訪問御意向
英國皇帝陛下は獨國皇帝陛下の誕辰に際し懇懃なる祝賀狀を贈り伯林を訪問せむとするの希望ある旨を述べられたり

●米國下院の對清態度
米國下院軍務委員長フル氏は華盛頓に於て協議の後ち清國の現狀は米國陸海軍をして準備を整へしむるの必要あるを述べ併せてロッタヒル氏の提言せる北清事變償金の返還を非難し之れを以て軍艦を製造すべしと主張せり

●親王來朝とタイムスの社論
タイムス新聞は其社說に於て此度ガーター勳章捧呈の爲めに使節を日本に送りたるは國家の大事にして國民に與ふるに内治の變遷如何に拘はらず世界の運命を支配すべき異勢力は果して那邊に存するかを記憶せしむるの機會を以てせり云々と論じ併せてオルダー、オブ、メリット勳章は未だ曾て外國人に送らさりし所のものなることを述べコンノート親王殿下か日本天皇陛下より受けたる歡迎を感謝せり

雜報

●徵兵令改正案
此程政府より貴族院に提出したる徵兵令中改正法律案の要領は從來外國に在る者（朝鮮を除く）には徵集を猶豫し來りたるも右を韓國、露領沿海州、露領樺太、清國、香港、澳門以外の外國に在るものに限ると改め徵兵適齡屆を每年一月より十二月まて二十歲となる者は一月一日より三十一日まてに屆出づるを要すと改め每年一月より十一月までに二十歲となるものは其年一月中に十二月中に二十歲となるものは翌年一月中に屆出づることゝ爲したり

●威海衛の現狀維持
巴里にて傳ふる所に依れば英國政府は未だ清國と威海衛問題に關する交渉を開かされとも外務大臣グレー氏は此問題に就ては現狀維持の方針を採り駐清使臣に訓令したりと傳せらる而して清國政府は之に對し特別の故障なきもの丶如く又日本政府は英國の威海衛より撤退するを希はすと云ふ

●參謀總長更迭說
大島關東總督は歸任の途次參謀本部の急電に接し下關より再び上京し同時に樞要部に於ける諸星の來往頻繁を極めたる由なるか聞く所によれは大山參謀總長は近々引退し兒玉大將臺灣總督を辭して參謀總長の後を襲ぎ臺灣總督の後任には大島關東總督若くは奧大將之に當るへしといふ

●淸國留學生復校
一時方向を誤りて歸國せし多數淸國留學生も昨今頗る悔悟の模樣にて便船每に復歸し目下其の三分の一は復歸して登校し殘り三分の二の中過半は已に歸校の途中に在る旨同國公使館に詳報あり載澤殿下にも此の點に就きては大に苦慮せられ請暇歸京の名義を以て歸國中の官費生等に對し請暇日限中遲延なく歸校すへき旨の督勵書を發すへき樣其筋に注意せられたる程なりと云ふ

●英國の海兵輸送試驗
ウイニペグ一月二十四日發電に依れば新日英同盟の結果として兩國は戰時互に相援助することゝなりたるを以て英國政府は近々試みに一萬人の海兵及び水兵を短艇裝具と共に英國より晚香坡の北方なるクイーンチャーロット國島に輸送し幾干の時日を以て目的を達し得可きやを試驗する筈にして其實行は二箇月以内なりとあり

●露司令官更迭
露國滿洲總司令官リチウヰッチは今回愈〻辭職し其後任としてボロジロフ將軍任命せられたる由將軍は前黑龍副總督として烏港より貝加爾以東の西伯利亞及び滿洲に於ける軍事上行政上の全權を有し露國極東政策の實行者として大に令名を博したる人にしてアレキセーフの極東總督に任せらる丶や多少失勢の感ありしが間もなく軍事參事官に任せられ今日に至りたる者なりと

●比律賓駐屯の新司令官
米國新聞の所報に據れば陸軍少將レオナルド、ウード氏新に米國比律賓駐屯軍司令官に任せられたりと云ふ、氏はローズヴエルト大統領の友人にして米西戰爭の際功勞多く今回其の新任を見るに至りしは米國か近來頻に南淸の排外運動に就き警戒しつゝある折柄大に氏の手腕に待つべきものあるに因れりと云へり

●浦塩碎氷船の不整理
在浦鹽斯德貿易事務官より本月十三日附を以て在本邦米國臨時代理公使を經て左の電報ありたり

浦鹽斯德に於ける碎氷船不整理の爲め商船出入の際非常の延滯をなし數日間に及ぶことも少からず今後尚一個月間は常態に復せさるへし

●損害救濟の請願
日露開戰前より浦鹽斯德、ニコライフスク、ゴルサコフ、旅順等露領及び滿洲各地に在留して商業若くは漁業等に從事せし本邦人諸氏は日露の開戰により受けたる損害賠償方に關し當局に申出づる所ありたるも其の願意を容れらる丶模樣無きより此等の人々は杉浦龍吉、島田元太郎、德永茂太郎外七名の諸氏を露領及び滿洲在留民損害救濟請願委員に推擧し事務所を牛込區築土八幡町三十一番地杉浦龍吉氏方に置き近日損害救濟に關する請願を貴衆兩院に提出する筈なりと猶ほ此等在留民諸氏の損害高は既に各自其の所管地方廳に屆出でし由なるか其の損害高を合算する時は一千萬圓の多きに達すと云ふ

●北京通信（承前）
二月十九日　特別通信員

▲淸曆正月休暇後露淸會議は既に數回の會見を重ね露國の對淸回答及び反對要求も既に提議せられし模樣に候併し淸露協商は四面の戶を閉ぢ切密室の内に於て會議せられつ丶ある者に候へは其眞相は頗る探悉し難き者に候併し飽迄ヅウ〳〵しき露國は全然淸國の提議（二三の條件に同意せるの外）に不同意を唱へ來たりしのみならず却て色々の難要求を提出逆捻を喰はせたりとの說は眞に近かき者なるへく候彼か日本より失たる代價を黑龍江附近に於ける鐵道礦山森林に得んとするか如き又東隅に失へる者を桑楡に收めんか爲め蒙古に於ける通商上の特權及び恰克圖庫倫間鐵道に對し淸露共同經營の留步權を得んとするか如き其要求の要部をなせるは推察するに難からず候且つ彼か山東角に於て沈沒せる水雷艇の賠償を要求せるか如きは余か信ずへき人より聞ける所に候或は此れに反對して今日排露熱の盛なる時此等の要求を提出するも決して貫徹するの見込なく且つ露國は滿洲に於て特別利權を獨占せさる事をポートマウス平和條約に於て宣言し居れは決して過當の要求を提出せさりしなるへしと觀察する者もなきに候はねと小生は一般消息通の云ふ如く露國は初めより其要求の貫徹を想像し居らず唯此等の要求を以て淸國の要求を抵制し以て淸露協商を曖昧裡に葬むり都合好くは其要求の一部なりとも僥倖せんとの決心なるへしとの說寧ろ正鵠に近かき者と存し候蓋し今日露國か淸國と協約を訂して自ら北滿洲に於ける行動を束縛するは決して露國の利益に非さるへく彼か會議を曖昧裡に沒了し更に經營の步を進むるは頗る巧なる遣り方なるへく候此れ識者の頗る憂ふる所にして淸國たる者緊褌一番せさるへからさる所に候

▲淸露協商の内容及び會議の進行を秘密にするは日淸協商の先例ある事故致し方なき次第に候へ共此れ橫暴なる露國外交に利ありて眞面目なる淸國に於ては百害ありて一利なき者に候會議の秘密なるか故露國はに以て奇貨となしポートマウスの條約に違反せる不仁不義なる要求をも提出して淸國を困らすへく淸國の道理ある要求も彼か詭辯の下に却けらるへく此れ淸國にかける一大失策なりと云はさるへからす候淸國當局者の意氣果して如何

▲今や淸露協商は唯其序幕を開きしのみにして未た其結果の如何に結着すへきかは全く疑問の内にあるのみならず兩國全權か果して如何なる立廻りをなすやも未た明かならさる次第に候へは吾人は徒に將來を豫言して識者の訕笑を招かんより茲暫く筆を擱ひて高見の見物をなし若し面白き藝當を見出さは再び禿筆を振ふて諸君に見ゆへく候早々不一（完）

●北淸事變以前の營口（承前）

▲鎭南鎭北　露艦か發砲を開始せしの當時は我か同胞は一体に鎭南、鎭北よりも必然發砲す可きを確信せり蓋し之れ人情に非すや、然れとも鎭南鎭北の發砲は想像に止り事實と爲らすして止めり、即ち騷擾の鎭定は露艦單獨の効勢に歸し其結果は營口の占領となり、更に住民は露國の行政の下に復するに至りたる也

▲共同占領　先是營口の形勢、漸次不穩に進行するや吾人は一方に於て露國の野心推察せさる無かりしを以て團匪一度襲來せは各國共同以て營口を占領し一面に於ては營口の靜平を保持し一面に在ては露國をして奸策を施し野心を貫徹するに道なからしめん事を希望せり、然かも、露艦は發砲するも我艦は緘默を嚴守し吾人の意思と頗る齟齬せしは甚た殘念なりき蓋し今に於て想ふも當時に於ける帝國の政策は寧ろ吾人の意見を以て當れりとす

▲日英兩國　回顧すれは當時に於ける日本と英國との間柄は今日の如く親善ならず若し當時に於て兩國の交情既に今日の如く親善なれは政府の方針も或は吾人一体の同胞と一致に出てたるやも知れす想ふに當時帝國政府の政策頗る勇なきに見へたるは此邊の遠慮與りて甚た力ありたる者乎

▲露國國旗　營口か愈々露國の占領となるや露國の國旗は、忽ちの間に市街の各所に樹立せられたり、官廳となく、民屋となく、殆んと、露國の國旗を以て滿たされたり終に後に於ては不埒千萬にも、吾々日本人の住宅に迄も亦た露國の國旗を樹立するに及ひたり斯の如きの暴擧妄んぞ吾同胞に於て承諾せんや固く其の樹立を拒み中には憤懣の餘り、足に掛て引裂きたるもあり、然かも恨むへし露國は傲然として望み、以て同胞の意を退けたり、斯て營口は全然露國勢力の圈内に入りたる也

▲商業妨害　露國の行動の、變的なる凡て斯の如し即ち當時、同胞は、何れも心中私に案ずらく營口既に露國の占領に歸せり自今吾人の商業は必然、大に妨害を蒙るへしと何んぞ知らん商業に關しては與り知らさる如く殆んと寸毫妨害を與ふる非りき蓋し寧ろ不思議と謂ふへし且つ夫れ旅行の如きも甚た自由にて少しの掣肘を加ふるなく、滊車賃に於ても最初の程は仕拂を要せさる程なりし試に今日の吾軍政の下に在る吾同胞の旅行に比較するも尚且つ甚た自由を覺へたり、豈に奇怪の現象と謂はさる無きを得んや

▲露國商人　露國か營口占領後、營口は勿論其他滿洲内地に入込みたる、若くは其以前に於て既に内地に營業せし露國商人に付て試に當時自分の調査せし所に依れは其多くは宛も吾か酒保商にて其の資力に於て將た又た其人物に於て敢て恐るに足らさるを發見し政治上に於ては侮る可らすと雖も商業上に於ては聊か意とするに足らすと考へたる事ありたり、他人の所見我輩に於ては知るに由なしと雖も蓋し見る所は大差なからん（未完）

●商況は依然沈靜
昨今に於ける營口の商況は沈靜を保持し雜貨、菓子、紙類、酒、味噌、醬油、其他諸品一体に活氣無し寧ろ唯た益々、不況を重ねんとす尤も雜貨等は軍票の騰貴に依り持主に内々多少の勇氣を添へつゝある如し、目下に於ける商況の不振は市内邦人の荷物は殆んど聊かの荷動無きに見ても知らるへしと云ふ者あり尚は近頃は滿洲内地一体に物資潤澤方にて奉天、鐵嶺等何れも其物價は營口と大差のなしと云ふ

●消火粉の使用法及効力試驗
明二十六日午後一時十五分日本領事館前空地に於て米國ニューヨーク、スター、ファイヤ、アツプライアンス會社員エム、ベアリング氏新發明消火粉の使用法及び効力の試驗を爲し公衆の觀覽に供する由なるが此新發明消火粉は其名の如く一種の粉末と爲り居るものなれば之を使用するも家具等に損害を與ふると無く極めて重寶なるもの丶由なれは營口の如き水に不便なる土地に於て冬期失火の虞れ多き際其效力にして實際に證明せらる丶に至らは最も簡便なる火災豫防具として珍重せらるに至るべし好事家は實地に就て驗せらるへし

●本願寺の日曜說敎
當地永世街矢野洋行向側なる本願寺出張所に於て定例に依り本日午後一時及び七時（營口時間）の兩回日曜說敎を開き（他力敎の現世生活）との演題にて寺本布敎師より說敎ある由なり

●豫定居留地雜聞
▲豫定居留地に對する借入人員の總數は百三十五人にして其借入主より軍政署に納付すべき敷地料は場所に依り面積に依りて同じからずと雖も其總体より每月納付すへき敷地料の總額は約二千五百圓なりと云ふ▲軍政署に於て敷地料を徵收するは一年四回にして第一期は昨年の十月を以て徵收せり、即ち十月分十一月分及び十二月分の三ヶ月分は第一期の徵收期に於て凡て徵收せられたるなるが當時は百三十五人の借入者中一人の未納者無之りしと云ふ▲第二回の徵收期は本年一月にして一月分、二月分及び三月分の三ヶ月分は一月を以て徵收す可かりしも軍政署の都合に依り一月に於ては僅に其月の分のみを徵収せり然るに會々歸國者又は旅行者甚た多く悉く徵収濟となる能はす依て斯の如き不在の者に對しては書面其他の方法を以て納付を督促せり其督促に會ふて自ら出頭又は代人を以て納付せし者も其後有之りたるも今日に至り尚ほ且つ一月分の納付を延滯せる者實に四十五六人の多きありと云ふ是等延滯者に對しては來る二十八日迄猶豫し其後は斷然、貸下を取消す軍政署の決心なりとなり▲第二期即ち一月に於て軍政署に徵收せしは其月の一月分なりしに、納付者に於て二期分全体即ち二月分及三月分も合せて納付し度しと依賴する者に對して其意に任せ二月分及三月分も併せて同時に徵收したりとなり、今其の第二期分ゝ三ヶ月分を既に納付せる者の人員に付て聞くに六十七人ありと云ふ、試に此の六十七人を百三十五人中より扣除せば殘數は六十八人となるか此の六十八人中の四十六人は復た前記の四十六人（一月分の延滯者）にして是等は或は營口に見込を有せさる權利の放棄者なるやも知れすと云ふ

●玉突競技會
平野町養氣亭に於ては今度東京より新に玉突臺を購求し日々非常の人氣あるが今回同好者申合せ本日午前七時より玉突競技會を催すと云ふ因に會費は一人三圓にして一等賞には舶來トランク以下十等迄賞品を贈呈する由定めて賑ふ事ならん

●藝妓仲居周易判斷
朴塗老

春帆樓　おりん
本名山下林子（明治十三年四月一日生）

先生此間はどうもいろ〳〵と、ヘアりんちやんかい上らつしやれ實はな昨今の寒氣がきつくてたへたやうぢやで四五日前から、べつたりと寢込んで居たぢやテ兎角年寄ると老病と云ふ奴にやられるのでな若い時のやうにはいかんぢや、それでお前さんの判斷も中途で御免蒙つた譯ぢやが今日は大分氣分も宜いやうぢやから一ッ此間のつゝきを見て進せよう、ヘイまことに難有ふ御座んすが先生樣、私の事を半鐘泥棒とか亭主を貧棒少尉なんてアンマりひどいぢやありませんか、悍りながら、ポン〳〵ながらそんな男ぢやなかつたですよ、ヲット其處までのたもうなマアい丶から聞かつしやれやお前さんは大事の〳〵の御亭主がくつたばつてからといふものは憂きが中にも七日〳〵のとむらひを濟し、なきがらを片手に獨りスゴ〳〵歸られたであらうが、兎角するうち月日の數も重なりて、日に忘れゆく夫のことゝ最早三度び亭主を持つの勇氣なくエ、儘の皮よと妙なところへ力瘤をいれて幼ない時に樂みに習ひ覺えた糸竹の道を力に親ごの膝を飛出して何でも筑前邊の温泉場で浮氣娼賣をさつしやつたが、そも〳〵間違の元祖か但しは一念發起の故か二た月三つ月稼ぐうちに某官吏に身受せられて四疊半をきめこんで居たが暫くすると又候何かの事から今度は此世での生別れ扨てこうなると女の淺ましさ愈々以てヤケの勘八で、とうとう戀しなつかしの日本を尻にして昨年六月營口に來たで御座らうがな、何が扨て其時の營口は軍票の道を步くやうな有樣で誰でも彼でも女であれば一夜の沈沒料が五十兩、それでも枕切れと云ふ調子でお前さんも一時は中々の全盛を極められたやうぢやがお前さんの疵とも云ふべきは酒の上の仕舞なさ、常には虫も殺さぬやうな顏付をして御座るが一獻きこし召すとイヤヘヤ饒舌るの何んので、それがため屢々失策を招く樣な事があるやうぢや、夫れから昨年の十一月頃であつたお前さんの過失で仲居部屋から火事を出し今にも大火にならんとする所を近所の人々が寄り集り、やつとの事に消し止たであらう其時お前さんも面目なさに遼河へ飛込むの井戶へ這入るなど丶言はつしやつて朋輩衆やら綠家の老夫婦に一方ならぬ心配をさせたのであらうがな、たうぢや狙を定めて放つた矢の外れる事があらうとも愚老が言ふ事は間違ひなからうが（まだ〳〵）

大車開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇

驛名	發着	時刻	
遼陽	着午後	三、五〇	發 四、五五
大石橋	着	一〇、三二	發 一一、三五
金州	着翌前	二、二〇	發 三、一〇
大連	着	五、三三	

大連營口線　上り列車

旅順　發午後　一二、〇三
大連　着　五、三三

營口線　下り列車

天氣　營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

豫告

新作小説 **おとし胤** 作者 德田秋聲

故紅葉門下四才子を出す曰く秋聲曰く鏡花曰く風葉曰く春葉而して秋聲最も蘊蓄の富贍を以て稱せらる其曾て萬朝紙上載する所の少華族の如き之を本郷座の演劇に仕組みて滿都好劇家の喝采を博し盛名一時に藉めす此新作小説『おとし胤』は即ち本紙の爲特に起稿を請せるもの則ち來る三月一日より續掲し以て江湖の閲讀を請はんとす今よりして後願くば才人の健筆によりて無味乾燥なる我紙上を粉飾することを得んか敢て豫告す

從來掲載せる小説『玉島少女』は故あり暫く休掲す併せて讀者の之を諒せんことを

●果して不景氣か（一商人の大氣焔）

交戰中の營口は當然、論外とせざる可らざるか近頃の營口は果して一般の唱導する如く不景氣なる乎、景氣に稱々あると共に不景氣にも亦た稱々の段階あり、昨今に於ける營口の不景氣は吾々同胞の忍ぶ能はさる程の不景氣なるも思ふに之れを景氣の絕頂たりし一昨年十月頃より昨年四五月頃迄に對照し比較すれは今日に於ける營口の景氣なる者は或は不景氣の絕頂と云ふも可ならん、世間徒に唱へて不景氣と呼ふは蓋し斯の如き對照に出てたるを疑はす否か

節に思へ一昨年末より昨年初春に渡る營口の景氣なる者は果して眞正の景氣と呼ふ可き者乎、景氣には相違無きも例外も例外も甚敷例外也當時の景氣を呼んて眞の上景氣と云ふへくは亂酔器具を破壊するも亦た眞正の勇氣と謂はさるを得す若し酒狂を目して勇者と稱ふ可らすとせは當時の景氣も眞の景氣には非らさりしなり

今夫れ公平に判斷するに昨今に於ける營口の景氣は敢て不景氣と呼ふに足らす然かも不景氣の如く思ふ者は景氣の比較を失するか爲のみ、而して今日の景氣に於て尚は苦む者ありとせは前述の例外の景氣を輕忽にも眞正の景氣と誤解せるの罪也

營口の今日か一般の不景氣と同視すへからさるは近く之を滿洲日報の義捐金募集に觀察するも明ならすや、內地の如き堂々たる代議士にして尚且つ一人の寄捐額は三圓を超さゝるに非すや更に同一の北清にかて觀るも、天津等は其紙上に發表せらるゝ所に見るに、所謂大頭株にて、一圓、二圓、三圓位に過きす、五圓に至りては殆んと絕望と云ふの姿也

尚は之を過日の婦人會の開催に係る慈善市に見るも、原價を二倍にして販賣し尚は且つ一日に賣上總額能く二千二百餘圓に達し若し夫れ茶代に至つては四百餘圓に上り其の多きは一人十圓少きも亦た一圓を下らす而して最も多かりしは五圓に非らさりしか夫れ斯の如く喜捨の種類に於て單り營口は甚た盛觀を呈しつゝあるにあらすや蓋し此の現象を裡面より觀察するに疑もなく住民の購買力の旺盛を示す者也、住民に此の購買力の旺盛なるは即ち之れ景氣の不況を打消すへき唯一の證據也徒に不景氣を連呼する者幸に一考せよ

●滑稽問題解答

過る十八日（日曜日）の紙上に滑稽問題が掲載してあつたが六千人も若い衆の居る中に誰一人答ふる人がないとは誠に營口在住の人もお氣の毒な事だイデや一番愚老が答へて見よう（朴捻老）

父をちやんと呼び母をおつかあと云ふは如何なる故ぞ

父親は一家の大黑柱にて、妻子眷屬の上に立つものなれば、平素の行爲も成るべくヂャンとして居るべき筈のものなり故に之をちやんと名づく又母親は夜明けに鴉がカアと啼けば、直に飛起きて炊事に取懸るべき筈のもの、故に之をカア樣と云ふなり、樣の代りに上におの字を附けおカアとなりおツカアとなる、夫が妻をカヽアと呼ぶも鴉が敎へ始めし語にて同一の意味なり

亭主の事を宿六と云ふは是如何

同じ亭主でも能く働いて締め括りのある男は宿祿と云はず、怠慢者か又は働いても働き甲斐なきヤクザ亭主を宿六と云ふなど、そは宿に居て碌々爲すなきの徒を罵る語なり

日は月より大きい物と承知して居ますが文字に書くと、楷書でも草書でも月の方が日より大きいのは道理に叶ひませんが是は如何

問者は其一を知て其二を知らぬと云ふ者日は二十四時間、月は三十日、日より月の方が永ひのにお氣が付かれませんか。

家庭雜話

天麩羅の効能と揚げ方

▲日本人の食物は淡白で脂肪分が餘程缺乏して居る營口に居る邦人でも矢張平生の習慣が脫け無いで其食物はどちらかといふと淸淡に失するやうである▲それで自分は日本人はもうちつと食物から脂肪分を取る方法を考へ無ければならぬと思ふから今純粹に我邦に發達した天麩羅に就て少し話をしやうと思ふ▲天麩羅は東京で御馳走の三役に置かれてある丈けに東京の天麩羅は一番甘い天金なんて今はさうでも無いが昔しは天麩羅といへば天金が天麩羅か天麩羅が天金かと言はるゝ位に隨分甘かつたもので今でも折々は夢に見る事もある▲東京流の天麩羅の揚げ方は胡麻の油を使ふ胡麻の油を過不及無く鍋に入れて火に懸ける煮立つて居る所へ海老、貝柱、烏賊、アナゴ、牡蠣などを入れる其油の加減が最も大事なさうぢやがそれが經驗を積まねば鳥渡六ツクしい▲衣に使ふ粉は米利堅粉又は米利堅粉と地粉とを混せて五合に卵二つの割合でザット掻き混せる餘ツブ〳〵が澤山ある程がよい素人は矢鱈に掻き廻はすから重く密に出來て輕く膨らまぬツブ〳〵があればそれが油でヘデ割れて甘い具合に被ぶさる▲粉を溶くに煑出汁即ちアナゴの頭などを煑出して使へば一番よい油の中の滓は時々引揚げ無いと油の不經濟である揚げた天麩羅は金網に載せて油を切る▲天麩羅を食ふには必ず大根卸しを添へる大根卸しは總べての場合に於て消化を助けるが天麩羅には甘くもあるし亦それか極めて必要である▲昔から天麩羅職人には肺病が無いと言つて居るが果して統計上さうかどうかは知らないが兎に角天麩羅は甘くて滋養があつて冬などは寒氣を防ぐ事が出來て皮膚の光澤を生ずる効能は十分にあるさう大した手數でも無いから御婦人方は折々試みて見た方がよい（家庭子）

寄猗堂老詞伯

六十九翁 赤本 半吉

苦學欽君聞道先　呼爲益友舊因緣
何人饒倖椽三語　吾輩唱酬詩幾篇
蹤跡路同方外士　杯盤時對酒中賢
依然頑健幸無恙　獨訪梅巒與柳眠

錦州途上

汝陰山樵

氷舟如箭度遼涯　雪色彌天麗似花
南向更投火輪去　撚髭先詠錦州霞

矚目

考槃野史

春雪行人少　紗窗夕日斜
門外梅關否　欲問南隣家

都々逸

新坊

歸りやしやんすな雪降る今日は　話殘した事もある
約束した日が此吹雪　主はくるやらこないやら
積り積りし道踏み別て　闇の戀路の雪明り
今宵ばかりは實意の主も　だめと知りしつゝ雪の門

ゑんかいな

同

春まだ茂き朝景色雪は積るし話はとける火鉢を中に小鍋立つゝく豆腐かゑんかいな

端唄

同

降りつもる、雪にものうし、通路や、一足拔の、靴のあと、拂へど白き袖袂、されとうれしや、逢た顏、

●鹿爪鈔（□□□）

▲男爵矢野龍溪先生といへば自らも任じ人も許す當代の大文豪であつて文字の詮索に就ては隨分八釜しい方である然るに其書いた所のもの勿論印刷したものではあるが其繪畫の意味に用ゆべき所に繪畫と書いてある其主幹する所の近事畫報なんかも麗々しく表紙に大きな文字で畫を書いてある▲吉兵衛とか與三吉とかいふ吉は士の字の下へ口を書くべきか本當であるに近頃大抵は土の下へ口を書く故田口博士なども自分の標札に筆太く田口卯吉と書いてあつたので學者ともある博士に可笑しいと言つて或雜誌で素破抜いて之を博士の許へ送つたスルト翌日早速標札が新しく削り立てられて土吉姓キチの代りにさむらひキチが書かれてあつた（□□生）

投書かご

▲貴社が東北三縣凶作義捐金募集の事は予が雙手を擧げて贊同する所であるが尚一歩を進めて當軍政署より臺灣米の拂下げを受けて該地方に惠送しては如何です代金も特別に割引を願ひ輸送方も郵船商船兩會社に交渉して義擧を助けしめ無運賃としたいものである（同情生）▲奥村婆はんが營口にいらはつて愛國婦人會の御說教をなはつた時には我々醜業婦迄も招集を受けて會員の一人と爲りヤレ妾等如き者でも人並に奉公の義務が盡くせるかと思つて喜んで居たら此頃は滅切御取扱が違つて來たやうである幾くら醜業婦だつて御國へ盡くす道だけは心得ておますよそれに今の奥樣の中には妾共に足をかけたやうな方もあるでおまへんか（一婦人）▲市場の醬油や味噌や魚類を商つて居る或店に百目の直段で賣けれど其實九十目しかやらん昨日も買つて來た味噌を奥が妾の目の前で秤に懸けて見てお竹お前お味噌を背めたと見えると仰やいましたホンニ悔やしかつた事よ（女中お竹）▲重ねてM君に告ぐ雜誌御郵送の好意を得ば幸最も甚し至囑〳〵（蚯蚓）

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一金壹圓 三井洋行内 松村眞三
一金貳圓 市場第八號 石塚新之助
同 淺吉
一金壹圓 二官街東來隣園 藤山善太
一金壹圓 同 小野孫七
一金壹圓 同 國光桑樾
計六圓
累計貳千七百貳十四圓貳十五錢
昨日掲載營口ホテル內谷粕耿ハ粕谷耿助の誤り

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部 河岸通（電話五十二番）

森病院
診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
往診 午後二時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大鹽しげ子）
院主 森 彌
醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話十五五番）

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉晶方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司營口支店

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鐵物諸般
營口綏定門街東 シップ商會
川喜鐵工場

演題 不變の理想
本日カーゾン氏構內日本人基督敎徒會堂ニ於テ左の題ニテグリーソン氏の說敎有之候
二月廿五日

右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候
消火器
英治洋行 營口西北街

北京 扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室淸潔料理鮮新

天津 御旅館 芙蓉館
駐屯軍御用 並西洋料理
（電話十一番）

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）
西洋料理仕出し御需應に可
即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

藝妓仲居新來御披露
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候 草々
營口 高砂ホテル
高砂（電話一四五）

會席料理
營口警務課前南に入る
三日月

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯淸潔 接待優遇懇切
開放全時二開業
奉天小西門外大街路北

開店披露
弊店儀從前より營口に於て營業罷在候處今般奉天小西門街金城館前へ第三更科支店開業仕候間一層御愛顧之程奉希候
月日
營口元神廟街 第一更科
同永世街 第二更科
奉天小西門街金城館前 第三更科
各位

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雑貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雑貨卸商
在元神廟營口街
關東公司雑貨部

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

菓子用薬品新荷着
醫薬賣薬醫療器械
重曹
硼砂
炭酸安母
ヲーラミン其他
東瀛大薬房
營口永世街

澤亀は醇良にして風味高雅
並ニ札幌ビール 朝日ビール
政府専賣口付紙卷煙草
朝日 大和
酢 醤油 瓶詰樽詰
菓子色々 罐詰
洋酒類取次販賣

醸造發賣元
大阪府堺市九間町
合名會社 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城内西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊港東營口 營口支店

婦科靈薬
專治
奏功如神仙
名聲掩四海

大日本東京津村順天堂
大薬房處修
此薬專治婦科諸症如經血、子宮虚冷、白帶赤帶、胎前産後諸症、惡阻、呑酸、吐水諸症、難産、流産、滞漏、不安諸症、經水不調、經逆、經期不順、或在經前後諸症、頭暈目眩諸症、衰發耗、火氣、手足腹痛諸症、腹痛諸症、男女感胃風寒及疝痛等症、誠救苦之妙藥、濟世之至寶也
子宮病、血の道等婦人病一切の妙薬なり
總批發處大清國營口永世街(二本町)
藥司洋行
藥劑士 淺野大薬房
其他各國有名靈藥發售處醫藥及醫療器械

雑貨
醤油
木炭
すし米
清酒 大樽 半樽
營口西北街
阪神組

満洲大阪賣所
營口 池上出張店(張松林邸内)
遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

SPECIAL LIGI…
(PILESNER BEER)
スペシャルライト賣出し
スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を醸造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり
醸造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雑貨部

標子
木板
料木
發賣
營口青堆子
清水寧木局

軍隊用雑貨
日用品雑貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子 白米
薬品、雑貨
醤油瓶樽詰 卸商
防寒具、安價販賣
營口西北街
豊生洋行
(電話十三番)

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉強をしまして従來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ福引景品を差上ます

新御料理
加薬飯 御壹人前 銀五拾錢
親子飯 仝 上
湯豆腐 一鍋壹 銀貳拾五錢

但釜飯は加薬親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ
景品は御勘定(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品券にて差上げ盡き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして福引致し景品券を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄
第壹等 銘酒澤亀 七樽
第貳等 仝 三樽
第參等 五匁附純金指環 壹個
第四等 二本 銀側懐中時計(代價二拾圓) 壹個
第五等 三本 旅行用皮製カバン(仝拾五圓) 壹個
第六等 四本 旅行用化粧道具(仝拾圓) 壹個
第七等 五本 膝掛け(仝八圓) 壹枚
第八等 六本 絹紬(仝六圓) 壹反
第九等 七本 メリヤスシャツ(仝五圓)上下 壹組
第十等 八本 卷烟草入(仝貳圓) 壹個

明治三十九年二月十日より
元神廟街
翁亭
長谷川金次郎

時刻

唐山至天津	上六、一二	上一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一一、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、〇〇	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	下一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民	上三、〇〇	下六、五七

遼陽着 六、二三 發 七、二〇
奉天上り列車 着午後 一二、〇六
天 奉 着午前 一一、〇〇

驛名	發着	時刻
大連	發午前	七、三〇
順	着	一〇、四九
營口 上	發午後	十二、二五
大石橋	着翌前	一二、二〇

宮門抄

二十八日
內務府　廂藍旗值日無引　見　王中堂因伊子照舊供職謝　恩
陳璧等謝調署缺　恩　陳名侃等謝照舊供職　恩　李希杰謝　恩
開缺另候簡用　恩　順天府奏京師得雪一寸有餘　掌儀司奏初一日祭
奉先殿濤貝勒行禮
召見軍機　唐文治
商部遞封奏一件

上諭恭錄

二十八日奉
上諭江蘇按察使着朱家寶補授欽此
旨商部左丞着紹英轉補王清穆着補授右丞左參議着楊士琦轉補熙彥着補授右參議欽此

論說

印度辯亡論

昔金人祭天休屠。終為漢破。帝師說法羅什。無救秦亡。重內典而輕外交。舍人事而听天命。上失之誣。下失之愚。冥然寂然。妄搆虛無之境。如醉如夢。莫鑿混沌之竅。未有不縛其手足。錮其心思。弱等波蘭。任瓜分於上國。衰同羅馬。傷麥秀於故宮者也。裨海之外。亞洲之裔。有五印度國焉。廣土冥出。其形如箕。緬甸襟其東。雪山拱其北。恆河輸瀉於其中。縱橫九千里而遙。居民二百兆有奇。天氣清淑。土膏沃衍。百穀之種藝於畝。五金之產饒於山。洋乎泱哉。開闢以來。天府之雄國也。向使勤耕作。警游惰。興學校。聚財政。教兵戰。勸工商。強民之力。開民之智。纂日朝之靈業。衍瑪奴之律例。整飭內政。以基富強。而凡席拉瑪之餘威。繼耶耶提王之雄略。增福爾脫威廉之礮壘。扼孟加拉斯之海灣。修甲厲兵。以捍牧圉。即何至卅受侵掠。長為外藩。彼垂涎而來。此攫肉而去。甚至依人宇下。凡乎不克自延其殘喘也哉。顧乃迷於宗教。舉國若狂。指釋迦之生。衍婆羅之派。口號菩薩。身是沙門。衣必袈裟。禮必膜拜。文學徒資其柔怯。梵唄益錮其靈明。坐令廉々周原。莫限戎馬之足。蚩蚩黔首。降居奴隸之班。風俗雖純。而民智日塞。財力雖厚。而民志日媮。積月累年。勢成贏弱。倀然莫適墮入轂中。葡萄牙謀之於前。荷蘭牙奪之於後。英吉利以公司之力。據之於終。恫乎悕哉。雖然衰之常理。亦人謀之未善也。且夫公司之力。非大於堅甲利礮。樓船鐵騎之縱橫也。英吉利之強。非遠於波斯韃靼土爾其阿富汗之全盛也。克里佛浮倫罕司丁之謀略。非優於馬毛多。高黎帖木兒郎巴卑爾之才與勇也。然而數千年來天下文明之古國迭廢迭興。而卒能自立者。一旦英吉利全而有之。臣其人縣其地。收其特權。使之屏氣而不敢言。側足而不敢動。則通商之利也。英人得通商之利。斯印度受互市之害。異物炫於目。和好狃於心。臥虎狼之側而不知。有魚肉之憂而不聞。人圖作佛。而俗皆好文。柔懦出於性生。惰媮成為習尚。人心既蔽則民智不開。民智不開則國力不進。於是橫遭搏噬。坐待滅亡。怫鬱煩冤。無所控訴。茫茫浩劫。凡揚滄海之塵。伈々眾生。望牛極樂之國。嗚乎晚矣。夫越人叅泗昔見蹙於樓船。匈奴習射。今何存乎鳴鏑。雖俗稱強盛。尚懼式微。矧國盡文柔。豈堪獨立。而印度之人。方且游心兜率之天。皈命空王之宇。以為得佛之佑。與世無爭。彼英倫島夷者。早㦸涎睥睨於其旁。視之如肌上肉。探之如囊中物。而印度勿悟也。恫乎悕哉。縱觀蘭斯數年之血戰。思脫羈銜。收菲律賓一島之人心。強為枝柱。而印度之大。且百倍之。遊加爾各搭之雄都。訪溫斯坦之名族。國旗改矣。佛號瑣然。令人想伊恒三世之逐蒙古而興俄。華盛頓之抗英而立美。而不禁為之長太息也。

倫敦電報

●**美國防備中國排外黨**　美國下院議長布爾氏與美國政府協議之後告議會云清國排外之氣勢未歸鎮靜則美國陸海軍不得一日怠其準備且以從前羅富古喜魯氏所言對於北清事變返還償金一事為非計乃主張以該償金製造軍艦之說云

●**英報論皇藩朝日事**　英國他以母斯新聞著論說云此次遣使捧勳章送呈日本國家之大事也并述此滅里多勳章向未贈外國人此次皇甥愛　日皇之歡　英國民皆深為感謝云云

(以上西二月二十二日到)

中外要聞

●**總稅司之條陳**　日前海關總稅司至外部議商洋藥膏土一律增稅應請貴部知照辦理膏捐柯大臣並知照各省洋關遵照辦理外部　憲咸以為然赫稅司又出條陳摺奏一件請外部代奏外部聯侍郎已允為代奏矣

●**樞府乞退不果**　今早鹿大軍機自言年力已衰恐悞要公與慶邸議商欲乞退休慶邸謂朝內堪任軍機者除世那之外尚少其人俟有堪勝軍機之任者再為告退云云

●**庫張路工之防備策**　茲聞官場消息京張鐵路工竣之後即應接修庫倫達張家口之路然藩雖願接修庫張鐵路尚恐俄人從中阻撓昨京張鐵路總辦謂庫張鐵路如歸人延宕不修當即稟請路政大臣劾丈庫張地段早為畫妥界綫免致外人爭我權利仍歸中國修築云

●**對於議約條款**　日前璞公使與外部大臣會晤對證中俄議約條款外部不認此事但向俄公使議商在哈爾濱開放事宜俄公使以此事須電達本政府俟來電再與貴部大臣會議

●**清理皂地**　聞日前有　京卿奏稱長蘆皂地久未清理以致民皂爭控不已請將皂戶斷地從前售與民人者准其回贖如無力者仍准耕種之民收納租糧俟原業皂戶有力之時再行飭令贖回等語云云聞政務處議覆當年皂地轉售於民其年分久遠者業主售王多半變更即有子嗣當時價值多寡亦皆遺失或有逃亡等戶更無從質問以致同姓影響之人彼此爭贖之案紛紛控告實滋繁擾諭飭皂戶有賣與民間之地交易年近確有實據者令皂戶備價取贖其餘年遠失迷之地所有爭告無憑辭狀著該衙門應行注銷云云又聞政府擬定凡民人所有皂地嗣後止許賣與皂戶永遠為業如有仍轉行典賣者照盜賣官地之例治罪永為定例如此則數年之後皂地暫歸皂戶而無不清之弊著戶部咨飭山東巡撫遵照實心奉行云云

●**招民開墾**　聞政府奏准各省州縣招民開墾務必給發牛種以資耕作令於原穫息米豆草內勒支次年完納一半三年照數全納各省地督撫一年內開墾二千頃至八千頃以上道府開墾千頃至六千頃以上州縣百頃至六百頃以上者分別一律給與議叙不得以二三年墾數合算云云

●**京察過堂**　吏部所辦京察已傳知各衙門於正月二十七日辰刻過堂所有一等之員先由內閣過堂起至兵部止一等人員完竣於二十八日由兵部考察二等起亦應一律考竣前已咨行各衙司員臨期不准告假俟過堂唱名不到立即扣除頃聞禮部主客司郎中榮昌久病未能當差昨已在司務廳具呈請假業已咨行吏部注假約略定將該員扣除矣

●**改良學校**　聞正陽門內西城根原設有重建顯學堂頃聞徐總辦大加改良將各齋擬改蒙學初等小學及中學添設体操一科一年卒業送往大學堂肄習所有各教習及各學生分別考核量人各等學堂另聘中西教習九員現在修建房舍俟工竣榜示招考云云

●**戶部裁吏之預備**　聞戶部滿漢大司農諭各總辦各將該司員外主事筆政人員內保荐文理兼備銷算明悉繕寫滿漢摺件案卷通達者擇其數員親理案牘量加津貼不准勾串書手傳遞底稿以便本部派司員辦公裁吏之意云云

雜報

●**驗試消火粉之期**　在美國紐育府阿布賴安斯會社員邊亞林氏賫其創製之消火粉來埠欲推廣銷路定於西曆本月二十六日午前十二鐘一刻在日本領事署前隙地驗試其使用法及其効力以供大眾之觀覽聞該消火粉用法極簡易且無損傷家財之虞如能暢銷則裨益於地方民生者為極大矣

●**會水疲鈍**　近日本埠向各埠會水銀加色仍疲前日向滬上會水銀每千兩與收主加色七十兩昨日跌至六十九兩向天津會水每千兩昨日加色一百二十五兩向瀋陽會水每千兩加色一百一十兩向寬城子會水每千兩加色八十五兩向吉林會水每千兩加色八十兩向錦州會現銀一錠加色八兩五錢向烟臺會現銀一錠加色七兩六錢本埠用爐銀換現銀一錠加色八兩云

●**手票羌帖平市**　近日本埠手票羌帖市行不相差等昨日手票每元作爐銀七錢六分六厘羌帖每元換爐銀亦七錢六分六厘然手票覺快羌帖覺遲云

●**手票價貴銀圓**　昨日本埠用小銀圓兌換爐銀一錠須七十一元六角若用手票合作爐銀一錠則六十九元八角有奇於是商民交易多用銀圓而藏手票以銀圓給手票加色云

●**河北運貨來埠**　近日河北車站由秦隍島運來諸貨堆積甚鉅前二日凡運過埠等貨茲又從河北運來洋錢二百餘捆雜貨箱子八千餘件瓜子二百餘袋花生菓兩小包並一大包共一百陸十餘大包柿餅子等貨二十餘包云

●**集市糧車糧行**　本埠近日不見邊車集市鄉車蓄因道途泥濘亦甚艱索每晨僅上糧車十餘輛然市行不看醒快元豆每斗市手票錢陸吊一二百文紅糧昨晨散市每斗市錢五吊三百有奇青豆每斗市錢五吊八百文黑豆每斗市錢四吊八百文云云

NEWCHWANG, SUNDAY, FEB. 25, 1906.

The proceeds of last Tuesday's Bazaar and evening entertainment has run up to Y. 4,373. out of which are to be deducted Y. 3,353 representing the actual cost paid for the goods and incidental expenses. The net profit cleared amounts to Y. 1,020, besides 345 pieces of the more expensive cloisonne ware and other objects of ornament that have been left over. The fair Committee are reported to have decided after mature deliberations to dispose of those unsold goods for which Y. 1,470 has been given, by offering them in a lot to some Japanese merchant of the port on the best terms obtainable, that as large a surplus as possible, of course besides meeting the outstanding deficit, may be realized for the relief of the bereaved families of the honoured dead that had hailed from the famine-afflicted sections of Japan.

The less costly articles have been sold out clean at the booth, bringing in Y. 2,428. The winsome graces of the tea-house ladies have raked in a goodly sum of Y. 425, while the coarser noodle stall has gathered only Y. 19 and a fraction—an illustration how superior in seductive power are the wiles of feminine charms to the feebler claims of appetite, even about the tea time.

Mrs. Segawa, presiding officer, has expressed on behalf of the Committee their heartfelt thanks for the keen interest the foreign community of the port has evinced in the undertaking and for its substantial support so generously given towards making the enterprise a decided success in spite of the bad roads. She regrets very much that, owing to the limited capacity of the Assembly Hall, the Committee had been advised to suspend with great reluctance the sale of admission tickets, when only about 350 of them had "flown off like so many frightened duck." It is learned that the very same consideration had barred them from sending out any complimentary tickets. The idea of converting the verandah into the tea-house had been abandoned on the preceding night, because of a well-founded fear that adequate means might not be at command to render it comfortably warm. Then, the tea intended at first to be served gratis was also made open to the liberality of the customers for tips, as is the waning custom in Japan, in a desire to make up for the shortage expected from the limited issue of tickets.

For all those departures from their original plan, Mrs. Segawa expresses her profound regret that is all the more intensified by the warm courtesies displayed by all the patrons.

It may be added that the unsold tickets some 150 in number have been later bought by an influential supporter of the worthy cause.

Rev. Mr. Webster left for Haicheng yesterday and is expected back next Monday.

Rev. Mr. Douglas of Liaoyang came down here last Thursday and is at the 'Stone House.' He will return north next Monday.

The Star fire-extinguishers will go through a practical test of their intrinsic merit at the hands of Mr. M. Buring, representing the Standard Fire Appliance Co., New York, who with Mrs. Baring came to the port from Tientsin last Thursday and are staying at the "Manchuria." The unique demonstration is to take place in public view at 12.15 p.m. to-morrow (Monday), at the vacant lot in front of the Japanese Consulate. The fire-extinguishing susbtance is encased in a cylindrical tube, and, being in the form of dry powder, is represented to do no damage to any carpeting or furniture over which it may be poured——an exclusive feature of superiority to any other of its kind in the market. If to-morrow's test confirms all the efficacious qualities credited to the chemical, the new introduction will be sure to find a good market at a place like Newchwang, where access to water is a thing of great difficulty even at the most favourable locations, particularly during the icy winter.

According to the latest Tokyo telegram, Marquis Ito proceeded westward for Shimonoseki, on the 23rd. inst., after paying a visit of homage to the Ise Grand Shrine. The delivery of the Russian prisoners of war, 71,963 in all inclusive of 1,438 officers, has been completed. The Buddhist preaching station of the Hongwanji Kyoto, at Foochow, China, was fired by some incendiaries. This is regarded as still another vent given to the anti-foreign agitation smouldering in South China.

豫報

昨日氣溫
昨日の氣溫　最高溫度十九度四　最低溫度三度四
昨年との比　高低十二度六　低四度三

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷　初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上　源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上東四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三軒

東京　御膳　生そば　元神廟　一式　東庵（電話百五十九）

料理　沖の島　永世街百六十五號　店主　中川清三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田　正好

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田　久二

旅館　大和館　永世街十一號　店主　前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚　勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主　田島　彌助

御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九號　元吉田屋跡　店主　和田　常松

料理　醉花園　旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田　留吉

旅館　金城ホテル　永世街百六十六號　料理　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理　喜樂亭　營口元神廟街

營口軍政署御用旅館　東雲　主任　谷口今朝太郎

ざるそば　第一更科　營口元神廟街
ざるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

御料理　柳亭　叮嚀專一　豊濟門街二三　店主　玉岡　釜人

御料理並ニ溫泉　一力　營口永世街　店主　堀　万助

和洋料理　松月亭　本店　營口元神廟街一四三号

和洋料理　御旅館　滿洲ホテル　支店　遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　井上源吉

御料理會席　菊水館　主任　朝枝□□

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席　玉家　御料理　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田　清

為替相場（二月廿四日）

日本向　一百圓　五十錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百〇二圓二十五錢（百弗に付）
芝罘向　天津向ト仝

日本品最近物價表　石原商店

一箱　ボイル　三十入　銀八圓
一　フキ　同　同五圓五十錢
一　福神漬　四打入　同三圓
一　上白米　石　同廿二圓八十錢
一　美濃紙　同　同六圓八十錢
一　大手帳　一打　同一圓
一　スコッチ靴足袋　一打　同四圓五十錢
一　洗濯石鹸　二十本入一函　同三圓
一　同並　二十五本入一函　同一圓八十錢
一　毛シャツ上下　打　銀二十五圓より六十圓迄
一　白メリヤス上下　打　同八圓より十三圓迄
一　首輪　同二圓
一　毛糸肩掛

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居新來
金城館料理部

奉天小西門外
會席御料理
高等御旅館
金城館

旅館　富喜樓
室內は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案內者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余
南大街　樓主敬白

御旅館　豊陽館　上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主　米田藤吉

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

一寸料理　滿月　平の町（電一六二）
滿月支店　平の町（元都楼跡）
店主　吉本□吉

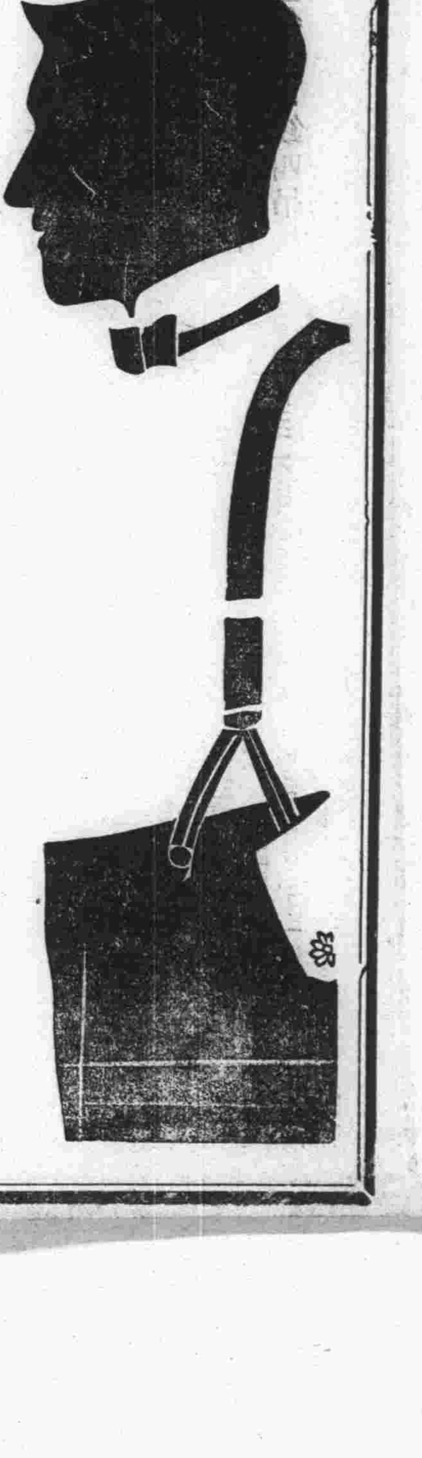
高等旅館　彌生館
營口永世街
館主　宮下只七郎（電四一二）

和洋會席御料理
一、弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に遊附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二、奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話十九番）
各位樣

東營口郵便局東隣　島田洋服店
新民屯停車塲前　同支店

御料理旅館　勉強館
奉天小西關外北長發園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尙ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形東京市松、はこせこ、鏡入、
紙入、蒔繪紙入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口　加藤洋行（電話八十番）

倉庫業
倉庫位置
營口綏定門街（公和窯）院內
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余
商船會社碼頭筋向イ
河岸へ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置
新玉號倉庫部（電話一五七號）

發賣　料木　檁子　木板
塩川商會
清國營口二本町二五五號
主任　鹽川峰吉（電話一三六番）
遼陽小西門內　鹽川商會

外に
建築用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓
○上等日本米　一石に付　銀二十圓
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
○板材木　○木炭
○亞鉛板　○洋釘
○干擵魚　○石灰
喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連　東洋ホテル
大連鐵道停車塲附近民政署前兒玉町